

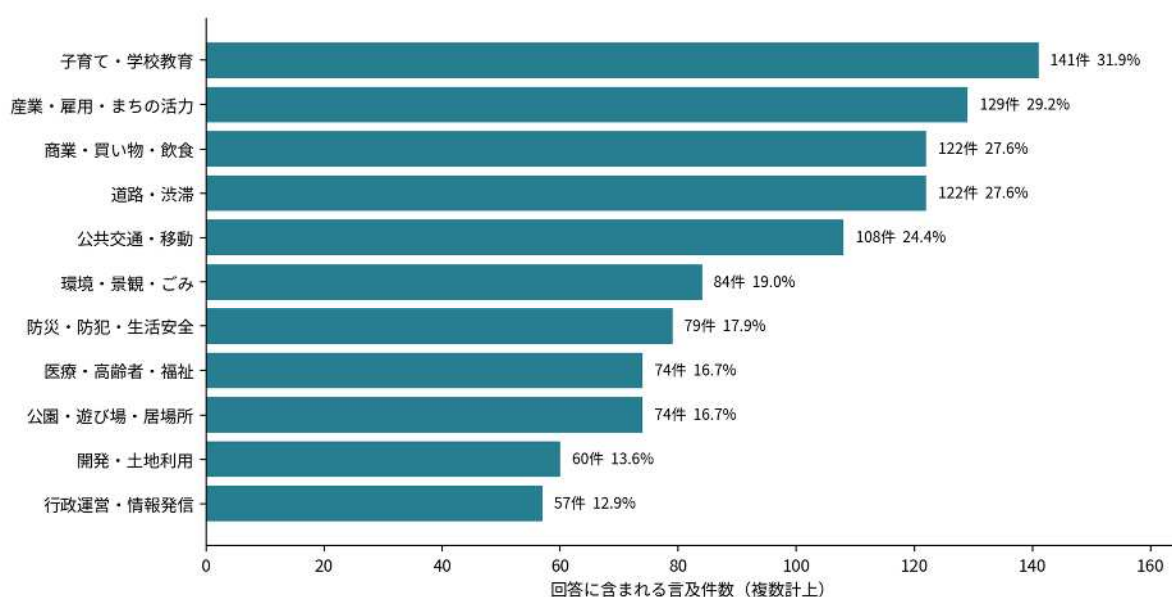
令和 8 年度 町民アンケート ～問 51 自由記述分析～

令和 8 年度町民アンケートの問 51「これからのまちづくり」に関する自由記述 442 件について、意見の内容を分野別・校区別に整理しました。

1 町民の声は、複数の生活課題をまたいでいる

交通・買い物・子育てなどの意見は、独立した要望とは限りません。例えば、道路混雑は通勤時間の問題に加えて通学時の安全にも関わり、公共交通の不足は高齢期の通院・買い物への不安につながります。企業立地や住宅開発を背景として、町の発展と日常の暮らしやすさを両立してほしいという問題意識も読み取れます。

意見の内容を、11 のテーマに整理



※自由記述 442 件を内容に応じて 11 のテーマに分類した参考集計です。1 件の回答に複数の内容が含まれる場合は、それぞれのテーマに計上しているため、合計件数は 442 件を超えます。

2 分野別にみた町民の意見

道路・渋滞 | 122 件（27.6%）

通勤・通学時間帯の渋滞、右折時の混雑、道路幅や路面の状態、歩道・横断設備の安全性への意見がありました。道路整備の要望は、自動車の流れだけでなく歩行者、とりわけ子どもの安全を確保してほしいという声と結び付いています。

寄せられた意見の例（趣旨） | 住宅や事業所が増えて車通りが多くなったため、通学路の歩道や横断場所の安全対策を進めてほしいという意見。

公共交通・移動 | 108 件（24.4%）

バスの便数・路線・鉄道との接続、乗合タクシーの使いやすさなどへの要望が見られます。通勤・通学の移動だけでなく、運転免許の返納後や家族の送迎に頼れなくなった場合の不安が背景にあります。

寄せられた意見の例（趣旨） | 今は家族の運転で通院や買い物ができるが、今後運転できなくなったときに利用できる交通手段を充実させてほしいという意見。

商業・買い物・飲食 | 122 件（27.6%）

日用品や生鮮食品の購入場所、衣料品・書店などの店舗、飲食・交流の場の充実を求める声がありました。町内で用事を済ませたいという生活上の要望と、町の魅力やにぎわいを高めたいという期待の双方が含まれています。

寄せられた意見の例（趣旨） | 日常の買い物はできても衣料品や専門店の選択肢が限られ、町外へ出かけることが多いため、店舗の種類を増やしてほしいという意見。

子育て・福祉に関する意見

子育て・学校教育 | 141 件（31.9%）

子育て支援の経済的負担、学校・学童・教育環境、登下校の安全など、幅広いテーマが寄せられました。同じ「子育て」の声でも、制度面の支援と日々の活動環境の改善は分けて検討する必要があります。

寄せられた意見の例（趣旨） | 子育てにかかる費用への支援を手厚くするとともに、安心して通学・学習できる環境を整えてほしいという意見。

公園・遊び場・居場所 | 74 件 (16.7%)

公園の広さや遊具だけでなく、暑さや雨天でも利用できる屋内施設、日陰、トイレなど、実際の利用環境に着目した要望が特徴的です。子どもだけでなく多世代が集える場所への期待もあります。

寄せられた意見の例（趣旨） | 夏の暑さや雨の日でも子どもが遊べる施設や、家族で過ごせる場所を充実させてほしいという意見。

医療・高齢者・福祉 | 74 件 (16.7%)

身近な医療機関や専門診療、介護・障がい福祉サービスの利用環境に加え、通院するための移動手段への不安も見られます。医療施設の有無だけではなく、そこまで行けるかという視点が重要です。

寄せられた意見の例（趣旨） | 高齢になっても安心して通院できるよう、医療体制と移動手段の両方を充実させてほしいという意見。

安全・産業・環境に関する意見

防災・防犯・生活安全 | 79 件 (17.9%)

避難場所、防災情報の伝達、防犯設備、夜道や交差点の安全など、平時からの安心につながる改善を求める声が見られます。

寄せられた意見の例（趣旨） | 防災無線が聞き取りにくいときにも情報が届くよう、スマートフォンなど別の連絡手段を充実させてほしいという意見。

行政運営・情報発信 | 57 件 (12.9%)

町政に関する情報の伝え方、住民意見の反映、窓口対応、事業の優先順位などについて意見がありました。サービスを増やすだけでなく、既存の行政サービスを分かりやすく使えるようにしてほしいという要望もあります。

寄せられた意見の例（趣旨） | 町民に伝わる情報発信や、住民がまちづくりに参加できる仕組みを充実させてほしいという意見。

産業・雇用・まちの活力 | 129 件 (29.2%)

企業進出や雇用創出による発展への期待がある一方、商業や交流施設の充実、観光資源の活用、地域産業とのバランスを求める声もあります。

寄せられた意見の例（趣旨） | 産業の発展を町のにぎわいや買い物の便利さにつなげ、住民も訪れる人も楽しめる町にしてほしいという意見。

環境・景観・ごみ | 84 件 (19.0%)

ごみ出しのルール、道路沿いの雑草、騒音、緑や水環境の保全など、身近な生活環境に関する内容が見られます。景観や自然を大切にしながら発展することへの期待も含まれています。

寄せられた意見の例（趣旨） | 住宅や事業所が増える中でも、山並みや農地などの景観を大切に、清潔な生活環境を維持してほしいという意見。

開発・土地利用 | 60 件 (13.6%)

住宅・マンションや工場の立地に伴う道路・景観・地域環境の変化に対し、計画的な整備を求める意見がありました。開発を否定するだけではなく、発展の利益と地域の暮らしやすさの両立を重視する声が見られます。

寄せられた意見の例（趣旨） | 住宅や企業の立地が進むときには、周辺道路や生活施設の整備も一体的に進めてほしいという意見。

3 校区ごとの特徴的な意見

校区別の意見は、居住地区や生活動線に関わるものを中心に整理しました。校区内で多い言及テーマも参考にしますが、ここでは単純な順位ではなく「どのような場面で不便を感じているか」を紹介します。

※以下の 7 校区の回答数は計 412 件です。全 442 件との差 30 件は、この校区別内訳には含まれていません（差の内訳は未確認）。

大津小学校区 | 回答 135 件

町の中心部・駅周辺の利便性やにぎわいに関する声が見られる一方、町内を移動する公共交通、身近な買い物、子どもの過ごす場所など、多面的な意見が寄せられています。

具体的な声（趣旨） | 駅周辺の建物や歩行者環境を整え、町の玄関口として利用しやすく、訪れたい場所にしてほしいという意見。

室小学校区 | 回答 105 件

住宅地内の交通量、生活道路の幅、通学路の安全を心配する声が特徴的です。学校周辺や幹線道路との接続に加え、商業施設や公共交通の使い勝手にも意見が寄せられています。

具体的な声（趣旨） | 住宅地の抜け道を通る車が増え、子どもの通学時が心配なため、道路の安全対策や通行方法を見直してほしいという意見。

美咲野小学校区 | 回答 67 件

坂道を含む地域の移動、買い物先へのアクセス、バスの便数など、車に頼らず生活できる環境への関心がうかがえます。商業施設や子どもの遊び場を求める声もあります。

具体的な声（趣旨） | 高齢になると坂道を歩いて買い物や通院に行くのが難しくなるため、利用しやすい移動手段がほしいという意見。

大津南小学校区 | 回答 49 件

南側の地域にも買い物先や公共交通を充実させてほしいという声と、駅周辺の送迎環境、道路・学校施設の安全や維持管理に関する声が見られます。

具体的な声（趣旨） | 中心部だけでなく南側にも生活に便利な店を増やし、校区まで利用できる公共交通を充実させてほしいという意見。

護川小学校区 | 回答 26 件

朝夕の渋滞や移動時間への負担に関する声に加え、日常生活の利便性、安全・安心の確保などの要望がありました。回答数が比較的少ないため、一つ一つの意見を慎重に扱う必要があります。

具体的な声（趣旨） | 通勤時間帯の渋滞が毎日の負担になっているため、交通の流れを改善してほしいという意見。

大津北小学校区 | 回答 20 件

中心部への移動に時間がかかることや、北部の生活環境・買い物先の確保に関する意見が見られます。道路の白線の維持や、障がいのある人が働ける場の充実など、生活の安全と多様な働き方への要望もありました。

具体的な声（趣旨） | 山間部では買い物に行きにくいとため、食料品を入手しやすい環境や北部の商業施設を充実させてほしいという意見。

大津東小学校区 | 回答 10 件

道路整備や交差点の信号、夜道の照明、公園の維持管理などに関する具体的な意見がありました。回答数が少ないため、これらを校区全体の傾向と断定しないよう留意が必要です。

具体的な声（趣旨） | 夕方から夜間に横断歩道が見えにくいとため、照明を整備して歩行者を確認しやすくしてほしいという意見。

4 改善要望だけではない、町への評価と期待

自由記述には改善を求める意見が多く含まれる一方で、町の暮らしやすさ、利便性、行事、行政職員の取組、今後の成長可能性を好意的に受け止める意見も寄せられています。こうした評価を、課題の指摘と併せて読み取ることが大切です。

暮らしやすさへの評価

「長く住んでおり、大津町は住みやすく好きな町」という趣旨の声がありました。

施設・サービスの改善への評価

町内の商業施設が利用しやすくなったことを評価する声がありました。

地域のイベントへの評価

夜市などの催しは子どもたちが楽しめ、地域の商店にも良い影響があるという趣旨の意見がありました。

町政・行政への評価

町職員や議員が町の発展に向けて取り組んでいることへの感謝を示す意見がありました。

町の将来性への期待

企業立地や人口増加などの変化を、町が発展する機会として前向きに捉える声がありました。

好意的な評価と改善要望は、同じ回答の中にも存在

例えば、町が住みやすいことや商業施設の改善を評価しながら、道路混雑や公共交通の使い勝手について改善を求める回答もありました。「評価」と「要望」を対立させず、現在の町の良さを維持しながら不便な点を減らしたいという視点で捉えることができます。